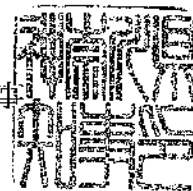


河第 1867 号

令和元年 12月 20日

鎌倉市長 殿

神奈川県知事



洪水浸水想定区域の指定について（通知）

このことについて、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項の規定により、次の河川について洪水浸水想定区域を指定し、指定の区域並びに浸水した場合に想定される水深及び浸水の継続時間を定めましたので、同条第3項の規定により通知します。

本洪水浸水想定区域の指定に伴い、貴市防災会議におかれましては、水防法第15条第1項第1号から第5号の規定により、貴市地域防災計画の見直しを図るとともに、同計画において定められた洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項等を住民に周知されるよう、水害ハザードマップの見直しをお願いします。

河川の名称

滑川水系滑川、神戸川水系神戸川

添付図書

洪水浸水想定区域図

- ・洪水浸水想定区域（想定最大規模）
- ・浸水継続時間（想定最大規模）
- ・洪水浸水想定区域（計画規模）

問合せ先

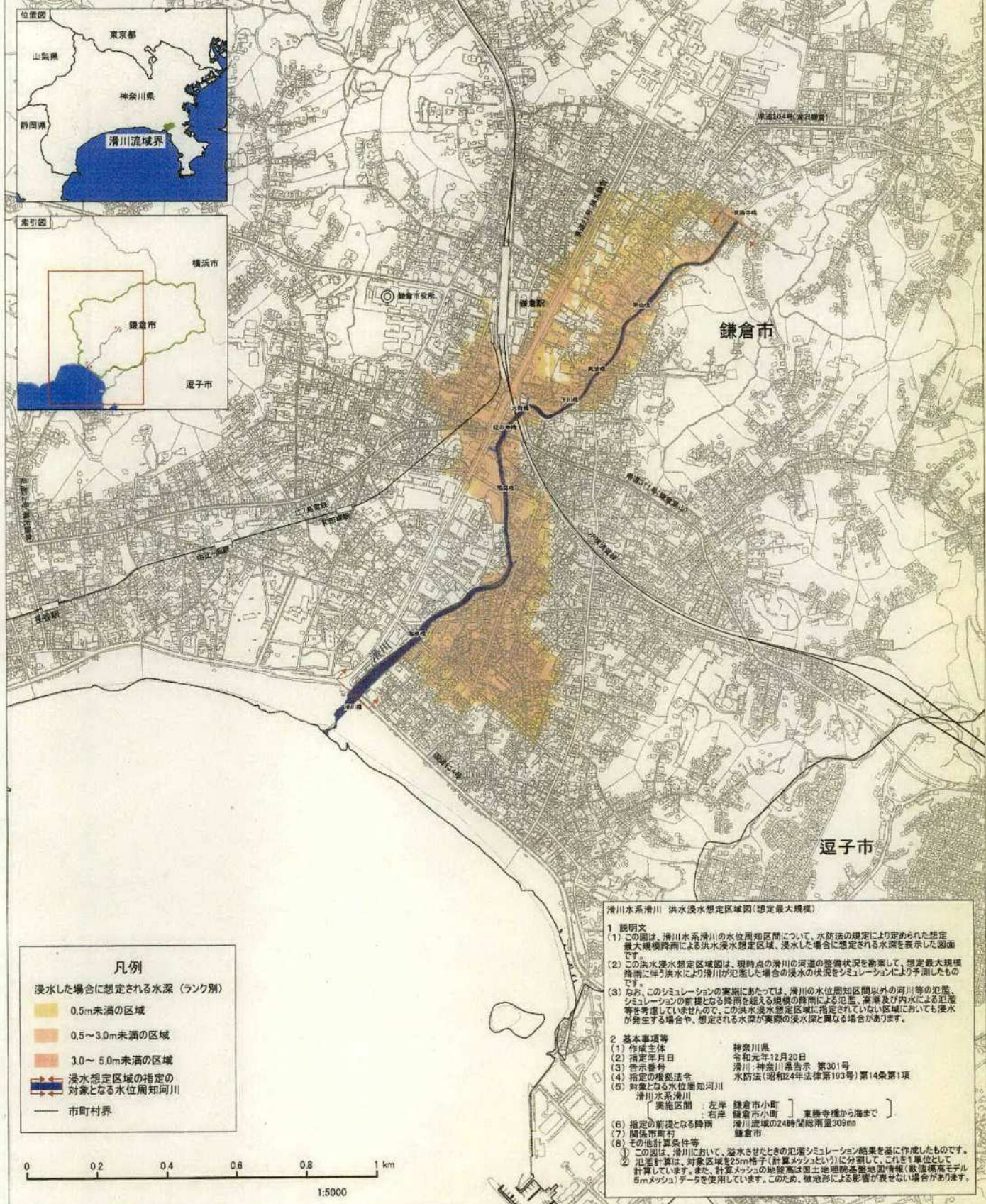
県土整備局河川下水道部

河川課調査グループ 城田、釵持

電話 (045)210-6479 (直)

滑川水系滑川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

資料2-1



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 市町村界

滑川水系滑川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

1 説明文

- (1) この図は、滑川水系滑川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の滑川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により滑川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、滑川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前段となる降雨を超える総量の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	神奈川県
(2) 指定年月日	令和元年12月20日
(3) 告示番号	滑川：神奈川県告示 第301号
(4) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5) 対象となる水位周知河川	滑川水系滑川
	【実施区間：左岸 鎌倉市小町】 東勝寺橋から海まで
	右岸 鎌倉市小町

(6) 指定の前段となる降雨 滑川流域の24時間総降雨量300mm

(7) 関係市町村 鎌倉市

(8) その他計算条件等

① この図は、滑川において、溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。

② 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院発表地盤情報(数値標高モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表れない場合があります。

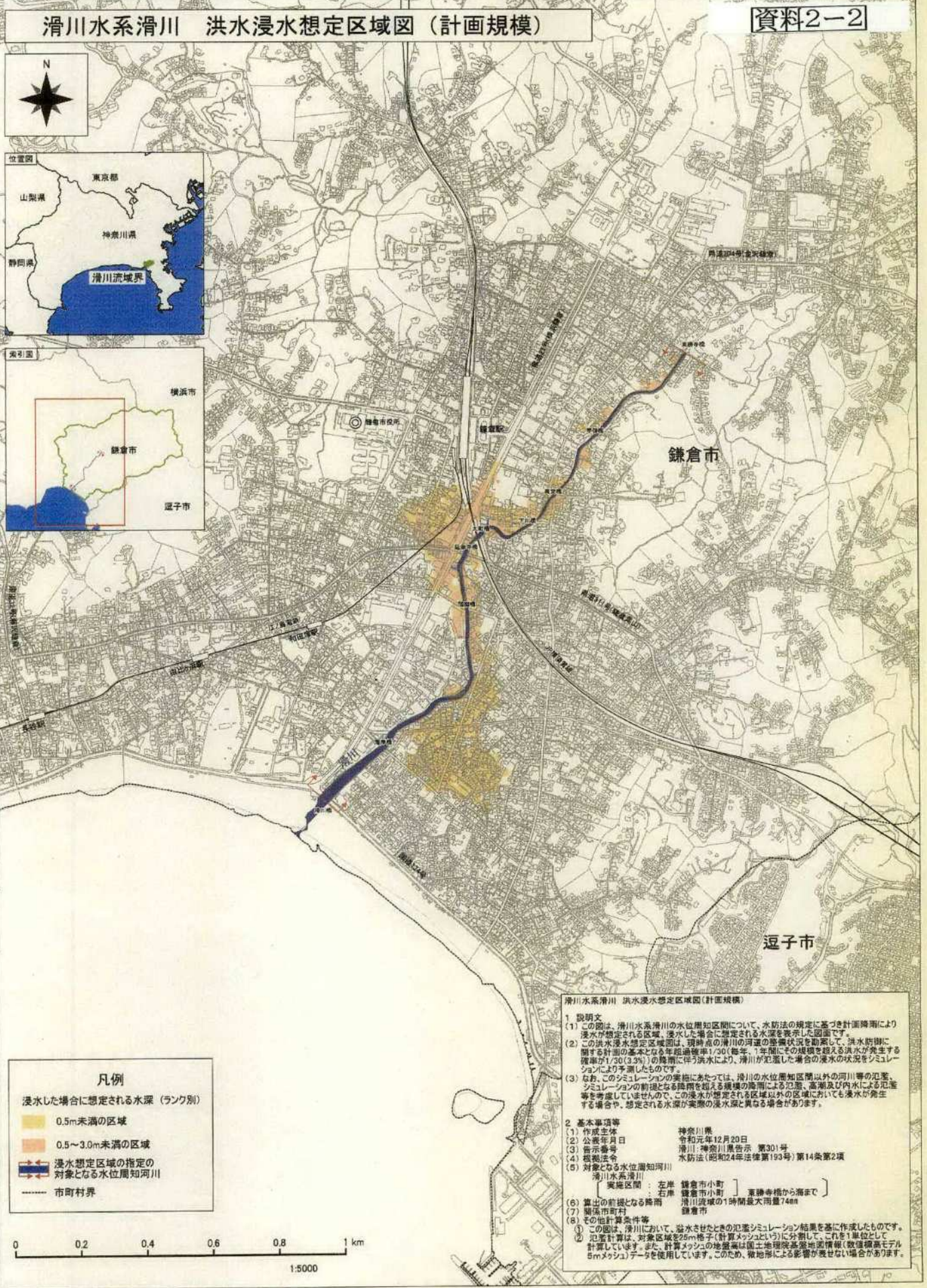


※A1出力時は1:5000、A3出力時は1:10000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第691号)

滑川水系滑川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

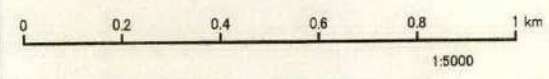
資料2-2



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 洪水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 市町村界



滑川水系滑川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

1 説明文

- (1) この図は、滑川水系滑川の水位周知区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の滑川の河床の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年間超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（3.3%））の降雨に伴う洪水により、滑川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、滑川の水位周知区域以外の河川等の氾濫シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高水及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	神奈川県
(2) 公表年月日	令和元年12月20日
(3) 告示番号	滑川 神奈川県告示 第301号
(4) 根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
(5) 対象となる水位周知河川	滑川水系滑川
	【実施区間：左岸 鎌倉市小町】 互勝寺橋から落まで
	右岸 鎌倉市小町
(6) 算出の前提となる降雨	滑川流域の1時間最大雨量74mm
(7) 対象市町村	鎌倉市
(8) その他計算条件等	

① この図は、滑川において、溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
 ② 氾濫計算は、対象区域を25m格子（5mメッシュ）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル5mメッシュ）データを使用しています。このため、微地形による影響が受けにくい場合があります。

※A1出力時は1:5000、A3出力時は1:10000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第681号）

神戸川水系神戸川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

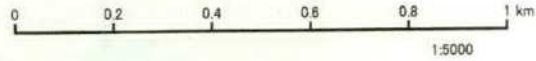
資料2-3



凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5~3.0m未満の区域
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
	市町村界



神戸川水系神戸川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)

1 説明文

(1) この図は、神戸川水系神戸川の水位周知区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の神戸川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により神戸川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、神戸川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	神奈川県
(2) 指定年月日	令和元年12月20日
(3) 告示番号	神戸川 神奈川県告示 第302号
(4) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5) 対象となる水辺周知河川	神戸川水系神戸川
実施区間: 左岸 鎌倉市津西 学ヶ峰から海まで	
右岸 鎌倉市津西	
(6) 指定の前堤となる降雨	神戸川流域の24時間総雨量309mm
(7) 関係市町村	鎌倉市
(8) その他特異条件等	

① この図は、神戸川において、溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。

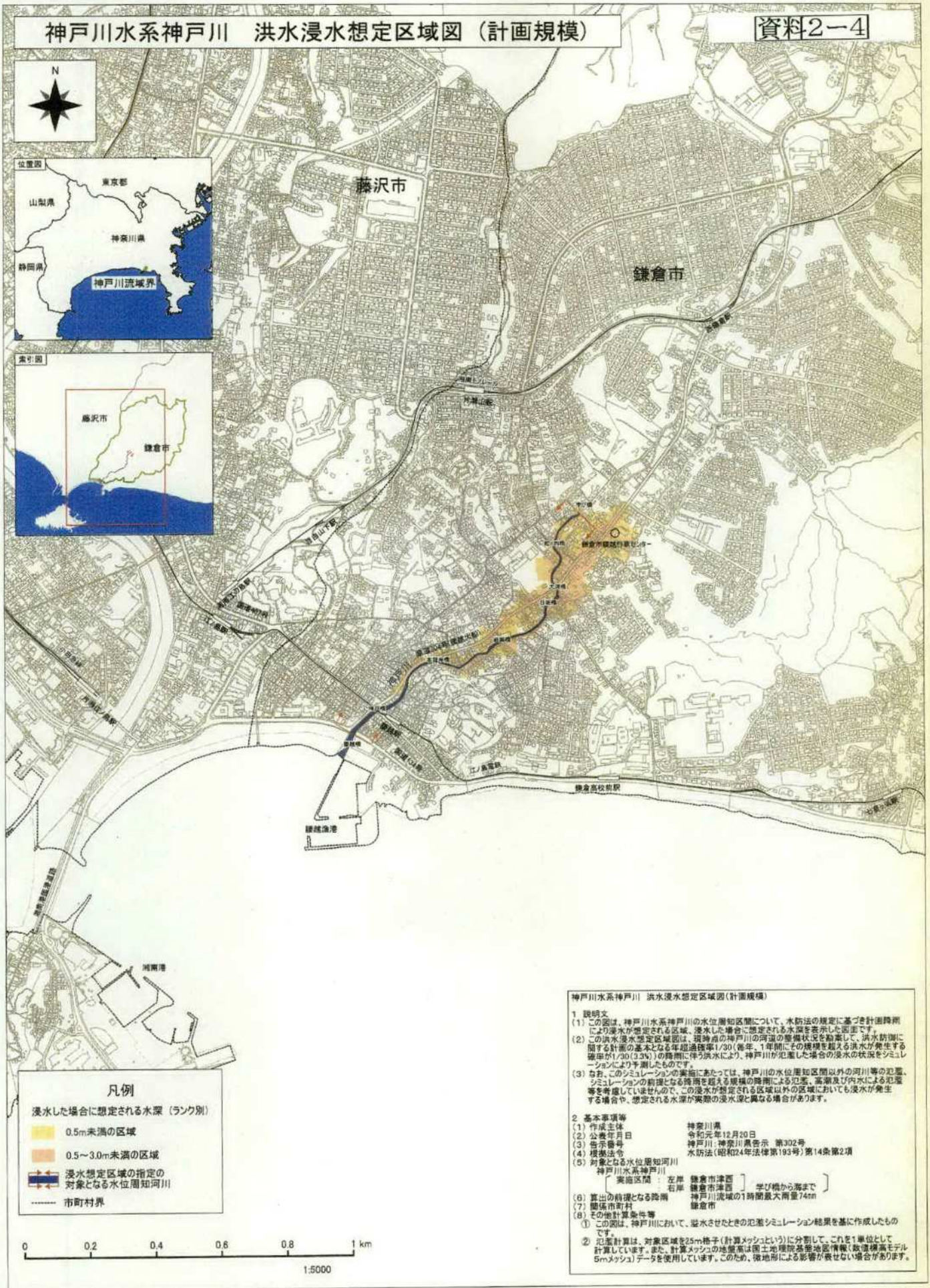
② 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュ)という1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報(数値標高モデル)のメッシュデータを使用しています。このため、微地形による影響が表れない場合があります。

※A1出力時は1:5000、A3出力時は1:10000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 令元情保、第681号)

神戸川水系神戸川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)

資料2-4



凡例

- 浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
- 0.5m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 市町村界



神戸川水系神戸川 洪水浸水想定区域図(計画規模)

1 説明文
 (1) この図は、神戸川水系神戸川の水位周知区域について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の神戸川の河道の整備状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%)の降雨に伴う洪水により、神戸川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、神戸川の水位周知区域以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前線となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 神奈川県
 (2) 公表年月日 令和元年12月20日
 (3) 告示番号 神戸川・神奈川県告示 第302号
 (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
 (5) 対象となる水位周知河川 神戸川水系神戸川
 実施区間：左岸 鎌倉市津西 学び橋から海まで
 右岸 鎌倉市津西 鎌倉市津西

(6) 算出の前提となる降雨 神戸川流域の1時間最大雨量74mm
 (7) 関係市町村 鎌倉市
 (8) その他計算条件等
 ① この図は、神戸川において、浸水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
 ② 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地形高は国土院院務部地理情報(取得精度モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表れない場合があります。

※A1出力時は1:5000、A3出力時は1:10000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 令元情使、第681号)